

## I はじめに（健康日本 2 1 の策定と経過など）

- 「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本 2 1）」は、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸等の実現を目的とし、平成22年度を目途とした具体的な目標を提示すること等により、関係機関・団体等を始めとして、国民が一体となって取り組む健康づくり運動（運動期間は平成12年度から平成24年度まで）である。平成19年4月に中間評価報告書を取りまとめた。

## II 最終評価の目的と方法

- 健康日本 2 1 の評価は、平成22年度から最終評価を行い、その評価を平成25年度以降の運動の推進に反映させることとしている。（平成23年3月から「健康日本 2 1 評価作業チーム」を計6回開催し、評価作業を行ってきた。）
- 健康日本 2 1 では9分野の目標（80項目、うち参考指標1項目及び再掲21項目を含む。）を設定している。これらの目標の達成状況や関連する取組の状況の評価などを行った。

## III 最終評価の結果

## 1 全体の目標達成状況等の評価

- ・ 9つの分野の全指標 80 項目のうち、再掲 21 項目を除く 59 項目の達成状況は次のとおり。Aの「目標値に達した」とBの「目標値に達していないが改善傾向にある」を合わせ、全体の約6割で一定の改善がみられた。

評価区分（策定時* の値と直近値を比較）	該当項目数＜割合＞
A 目標値に達した	10項目＜16.9％＞
B 目標値に達していないが改善傾向にある	25項目＜42.4％＞
C 変わらない	14項目＜23.7％＞
D 悪化している	9項目＜15.3％＞
E 評価困難	1項目＜1.7％＞
合計	59項目＜100.0％＞

\* 中間評価時に設定された指標については、中間評価時の値と比較

## 【主なもの】

- A：メタボリックシンドロームを認知している国民の割合の増加、高齢者で外出について積極的態度をもつ人の増加、80歳で20歯以上・60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の増加 など
- B：食塩摂取量の減少、意識的に運動を心がけている人の増加、喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及、糖尿病やがん検診の促進 など
- C：自殺者の減少、多量の飲酒する人の減少、メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少、高脂血症の減少 など
- D：日常生活における歩数の増加、糖尿病合併症の減少 など
- E：特定健康診査・特定保健指導の受診者数の向上（平成20年からの2か年のデータに限定されるため）

## 2 分野別の評価

- ・ 各分野（栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり、たばこ、アルコール、歯の健康、糖尿病、循環器病、がん）の指標項目ごとに達成状況と評価、指標に関連した施策、今後の課題を取りまとめた。（特に直近実績値に係るデータ分析や課題などについて、コメントを加え、評価の理由やポイントについて分かりやすく示した。）

### 3 取組状況の評価

- ・自治体における健康増進計画の策定状況は、都道府県 100 %、市町村 76 %であった。
- ・98 %の都道府県で健康増進計画の評価を行う体制があり、中間評価も実施されていたが、市町村では約半数であった。また、健康増進施策の推進体制については、98 %の都道府県で関係団体、民間企業、住民組織が参加する協議会・連絡会等の体制があり、市町村でも7割弱を占めた。
- ・都道府県の健康増進施策の取組状況については、9分野のうち「充実した」と回答した割合が高かったのは、がん(89%)、たばこ(83%)など、50%を下回ったのはアルコール(23%)と循環器病(43%)であった。目標達成の状況は、今後の各自治体での最終評価の状況を踏まえた整理が必要である。
- ・市町村で各分野の代表項目で「充実した」と回答した割合が高かったのは、がん検診の受診者の増加(66%)、特定健康診査・特定保健指導の受診者数の向上(61%)などであった。
- ・健康日本21推進全国連絡協議会の加入会員団体で、取組体制について担当者を決めたとする団体は81%と高く、他の機関や団体との連携や年度ごとに計画を立てた取組の実施も6割を超えた。

## IV おわりに(次期国民健康づくり運動に向けて)

### 1 次期運動方針の検討の視点

- ① 日本の特徴を踏まえ10年後を見据えた計画の策定
- ② 目指す姿の明確化と目標達成へのインセンティブを与える仕組みづくり
- ③ 自治体等関係機関が自ら進行管理できる目標の設定
- ④ 国民運動に値する広報戦略の強化
- ⑤ 新たな理念と発想の転換

### 2 次期運動の方向性

- ① 社会経済の変化への対応
  - ・家族・地域の絆の再構築、助け合いの社会の実現(東日本大震災からの学び等)
  - ・人生の質(幸せ・生活満足度等)の向上
  - ・全ての世代の健やかな心を支える社会の在り方の再構築 など
- ② 科学技術の進歩を踏まえた効果的なアプローチ
  - ・進歩する科学技術のエビデンスに基づいた目標設定
  - ・個々の健康データに基づき地域・職域の集団をセグメント化し、それぞれの対象に応じて確実に効果があがるアプローチを展開できる仕組み
  - ・最新技術の発展を視野に入れた運動の展開
- ③ 今後の新たな課題(例)
  - ・休養・こころの健康づくり(睡眠習慣の改善、働く世代のうつ病の対策)
  - ・将来的な生活習慣病発症の予防のための取組の推進
  - ・高齢者、女性の健康
  - ・肺年齢の改善(COPD、たばこ) など

## 健康日本21の各目標項目における評価

### A: 目標値に達した(10項目、再掲除く)

目標項目:1. 15	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している国民の割合の増加
目標項目:2. 4	外出について積極的な態度をもつ人の増加 [運動習慣者の割合]
目標項目:2. 5	何らかの地域活動を実施している者の増加 [地域活動を実施している人]
目標項目:3. 2	睡眠による休養を十分にとれていない人の減少 [とれない人の割合]
目標項目:6. 2	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の増加 [を受けたことのある幼児の割合(3歳)]
目標項目:6. 7	進行した歯周炎の減少 [有する人の割合]
目標項目:6. 11	80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の増加 [自分の歯を有する人の割合]
目標項目:6. 12	定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の増加 [過去1年間に受けた人の割合]
目標項目:6. 13	定期的な歯科検診の受診者の増加 [過去1年間に受けた人の割合]
目標項目:7. 6	糖尿病有病者の減少(推計)

### B: 目標値に達していないが改善傾向にある(25項目、再掲除く)

目標項目:1. 3	食塩摂取量の減少 [1日当たりの平均摂取量]
目標項目:1. 8	量、質ともに、きちんとした食事をする人の増加 [1日最低1食、きちんとした食事を、家族等2人以上で楽しく、30分以上かけてとる人の割合]
目標項目:1. 9	外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする人の増加 [参考にする人の割合]
目標項目:1. 10	自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の増加 [理解している人の割合]
目標項目:1. 12	ヘルシーメニューの提供の増加と利用の促進 [提供数、利用する人の割合]
目標項目:2. 1	意識的に運動を心がけている人の増加 [意識的に運動をしている人の割合]
目標項目:2. 7	安全に歩行可能な高齢者の増加 [開眼片脚起立時間20秒以上に該当する人の増加]
目標項目:4. 1	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及 [知っている人の割合]
目標項目:4. 2	未成年者の喫煙をなくす [喫煙している人の割合]
目標項目:4. 3	公共の場及び職場における分煙の徹底及び効果の高い分煙に関する知識の普及 [分煙を実施している割合]
目標項目:4. 4	禁煙支援プログラムの普及 [禁煙支援プログラムが提供されている市町村の割合]
(参考指標) 目標項目:4. 5	喫煙をやめたい人がやめる 参考
目標項目:5. 2	未成年者の飲酒をなくす [飲酒している人の割合]
目標項目:6. 1	う歯のない幼児の増加 [う歯のない幼児の割合(3歳)]
目標項目:6. 4	一人平均う歯数の減少 [1人平均う歯数(12歳)]
目標項目:6. 5	学童期におけるフッ化物配合歯磨剤の使用の増加 [使用している人の割合]
目標項目:6. 6	個別的な歯口清掃指導を受ける人の増加 [過去1年間に受けたことのある人の割合]
目標項目:6. 8	歯間部清掃器具の使用の増加 [使用する人の割合]
目標項目:7. 4	糖尿病検診の受診の促進 [受けている人の数]
目標項目:7. 5	糖尿病検診受診後の事後指導の推進 [受けている人の割合]
目標項目:7. 7	糖尿病有病者の治療の継続 [治療継続している人の割合]
目標項目:8. 5	高血圧の改善(推計) 参考
目標項目:8. 10	健康診断を受ける人の増加 [検診受診者の数]
目標項目:8. 11	生活習慣の改善等による循環器病の減少(推計)
目標項目:9. 7	がん検診の受診者の増加 [検診受診者数]

C: 変わらない(14項目、再掲除く)

目標項目:1. 1	適正体重を維持している人の増加 [肥満者等の割合]
目標項目:1. 2	脂肪エネルギー比率の減少 [1日当たりの平均摂取比率]
目標項目:1. 4	野菜の摂取量の増加 [1日当たりの平均摂取量]
目標項目:1. 6	自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践する人の増加 [実践する人の割合]
目標項目:1. 11	自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の増加 [改善意欲のある人の割合]
目標項目:1. 13	学習の場の増加と参加の促進 [学習の場の数、学習に参加する人の割合]
目標項目:1. 14	学習や活動の自主グループの増加 [自主グループの数]
目標項目:2. 3	運動習慣者の増加 [運動習慣者の割合]
目標項目:3. 4	自殺者の減少 [自殺者数]
目標項目:5. 1	多量に飲酒する人の減少 [多量に飲酒する人の割合]
目標項目:5. 3	「節度のある適度な飲酒」の知識の普及 [知っている人の割合]
目標項目:6. 3	間食として甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少 [習慣のある幼児の割合(1歳6ヶ月児)]
目標項目:7. 10	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の減少 [メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の人数(40~74歳)]
目標項目:8. 7	高脂血症の減少 [高脂血症の人の割合]

D: 悪化している(9項目、再掲除く)

目標項目:1. 5	カルシウムに富む食品の摂取量の増加 [1日当たりの平均摂取量(成人)]
目標項目:1. 7	朝食を欠食する人の減少 [欠食する人の割合]
目標項目:2. 2	日常生活における歩数の増加 [日常生活における歩数]
目標項目:2. 6	日常生活における歩数の増加 [日常生活の歩数]
目標項目:3. 1	ストレスを感じた人の減少 [ストレスを感じた人の割合]
目標項目:3. 3	睡眠の確保のために睡眠補助品やアルコールを使うことのある人の減少 [睡眠補助品等を使用する人の割合]
目標項目:8. 2	カリウム摂取量の増加 [1日当たりの平均摂取量]
目標項目:9. 4	1日の食事において、果物類を摂取している者の増加 [摂取している人の割合]

E: 評価困難(1項目、再掲除く)

目標項目:7. 11	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念を導入した健診・保健指導の受診者数の向上
------------	--